

京丹後市万博ロードマップ

Ver. 2

2024年8月6日

1. 2025大阪・関西万博の概要
2. ロードマップ策定の目的、体制イメージ
3. 万博で目指すもの、達成目標
4. 京丹後市の魅力・取組の柱
5. 万博に向けた全体ロードマップ
6. 個別の取組
7. 万博期間中の交通手段等

2025大阪・関西万博の概要

万博とは

- 世界中からたくさんの人やモノが集まるイベントで、地球規模のさまざまな課題に取り組むために、世界各地から英知が集まる場。
- 1970年に日本、そしてアジアで最初に開催された大阪万博は日本の高度経済成長をシンボライズする一大イベントとなった。
- 2025年大阪・関西万博は、2005年に開催された愛・地球博に続き、20年ぶりに日本で開催される国際博覧会。

○**テーマ** : **いのち輝く未来社会のデザイン**

○**サブテーマ** : Saving Lives (いのちを救う)
Empowering Lives (いのちに力を与える)
Connecting Lives (いのちをつなぐ)

○**コンセプト** : **未来社会の実験場**

1. 展示をみるだけでなく、世界80億人がアイデアを交換し、未来社会を「共創」(co-create)。
2. 万博開催前から、世界中の課題やソリューションを共有できるオンラインプラットフォームを立ち上げ。
3. 人類共通の課題解決に向け、先端技術など世界の英知を集め、新たなアイデアを創造・発信する場に。

○**想定来場者数** : 2820万人

○**開催期間** : 2025年4月13日（日）～10月13日（月）
184日間

○**開催場所** : 大阪 夢洲（ゆめしま）

2025年大阪・関西万博がめざすもの

- ✓ 持続可能な開発目標（SDGs）達成への貢献
- ✓ 日本の国家戦略Society5.0の実現

2025年大阪・関西万博で実現すること

- 1 最先端技術など世界の英知が結集し新たなアイデアを創造発信
- 2 国内外から投資拡大
- 3 交流活性化によるイノベーション創出
- 4 地域経済の活性化や中小企業の活性化
- 5 豊かな日本文化の発信のチャンス

2025大阪・関西万博に参加する意義

大阪・関西万博に参加する意義と決意

- 2025年に開催される大阪・関西万博では、「いのち輝く未来社会のデザイン」をテーマに、「未来社会の実験場」として取り組むことを掲げている。
また、SDGsの目標年である2030年の5年前という節目の中で、人類共通の課題解決に向けて、世界の英知を集め、新たなアイデアを創造・発信する場になることを目指している。
- 京丹後市は、山陰海岸ユネスコ世界ジオパークに代表される風光明媚な自然環境に恵まれ、その地で育まれた食を生み出す農林水産業、丹後ちりめん代表されるものづくり産業や現在も男性寿命世界一のギネス認定者の居住地であり百寿率が高いことから健康長寿のまちである。
- 本市には、自然、文化、産業などの様々な分野において、この地で脈々と引き継がれ、今後も守っていく「いのち」がある。また、市内全域に甚大な被害をもたらした北丹後大震災から2027年に100年を迎えるにあたり、防災の観点からも「いのち」の大切さについて再度見つめなおす時期に差し掛かっていると考えている。
- 本市としても、本万博のテーマである「いのち輝く未来社会」に共鳴し、これまでに引き継いできた本市の様々な「いのち」を今後も絶やすことなく、「懐かしくて豊かな未来づくり」に向けて、様々なチャレンジを行いながら本万博の共創に取り組んでいく決意である。

ロードマップ策定の目的、体制イメージ

ロードマップ策定の目的

- 本万博を契機として、市民・関係機関・行政が連携し、京丹後の強みである健康長寿、自然、歴史、文化、産業などの様々な資源を見つめ直し、地域間での連携、国内外との交流拡大、本市の魅力発信を通じて発展に繋げていくため、実施する取組、目標達成に向けた進捗管理等を行っていくために、ロードマップを策定する。



万博で目指すもの、達成目標

万博で目指すもの

- 丹後の地域一体となった取組の実現
- 自然、文化、産業等の様々な「いのち」の魅力向上・発信
- 地域間連携、国際交流などにより、誘客・交流を実現

万博に向けた機運醸成

意識変革

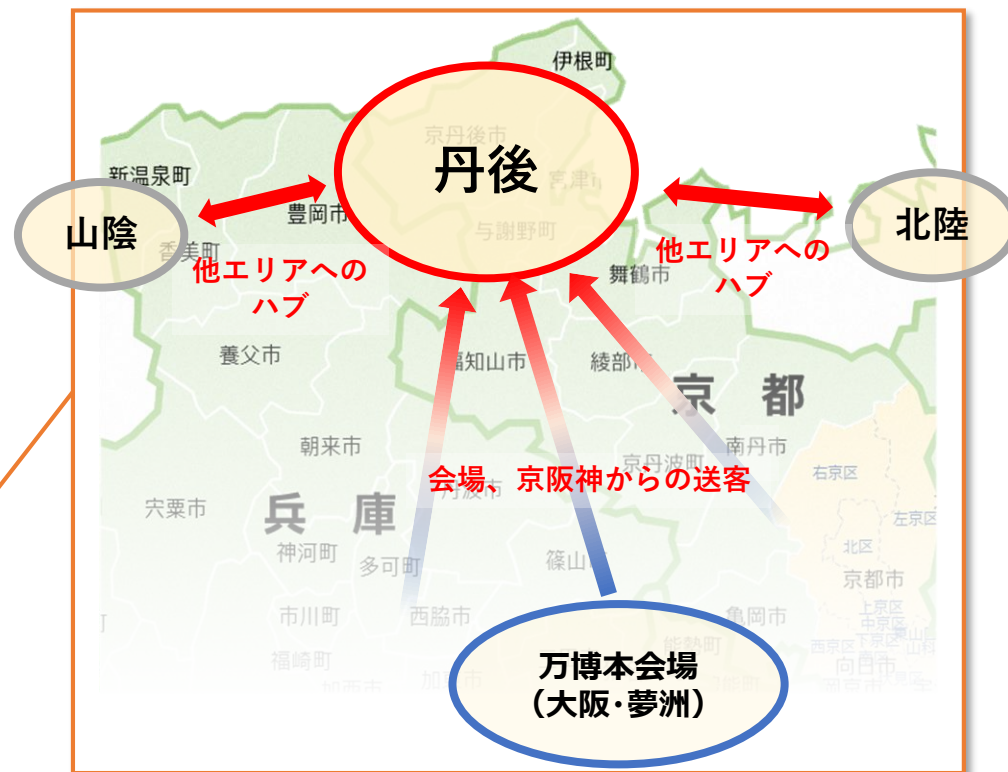
魅力向上

情報発信

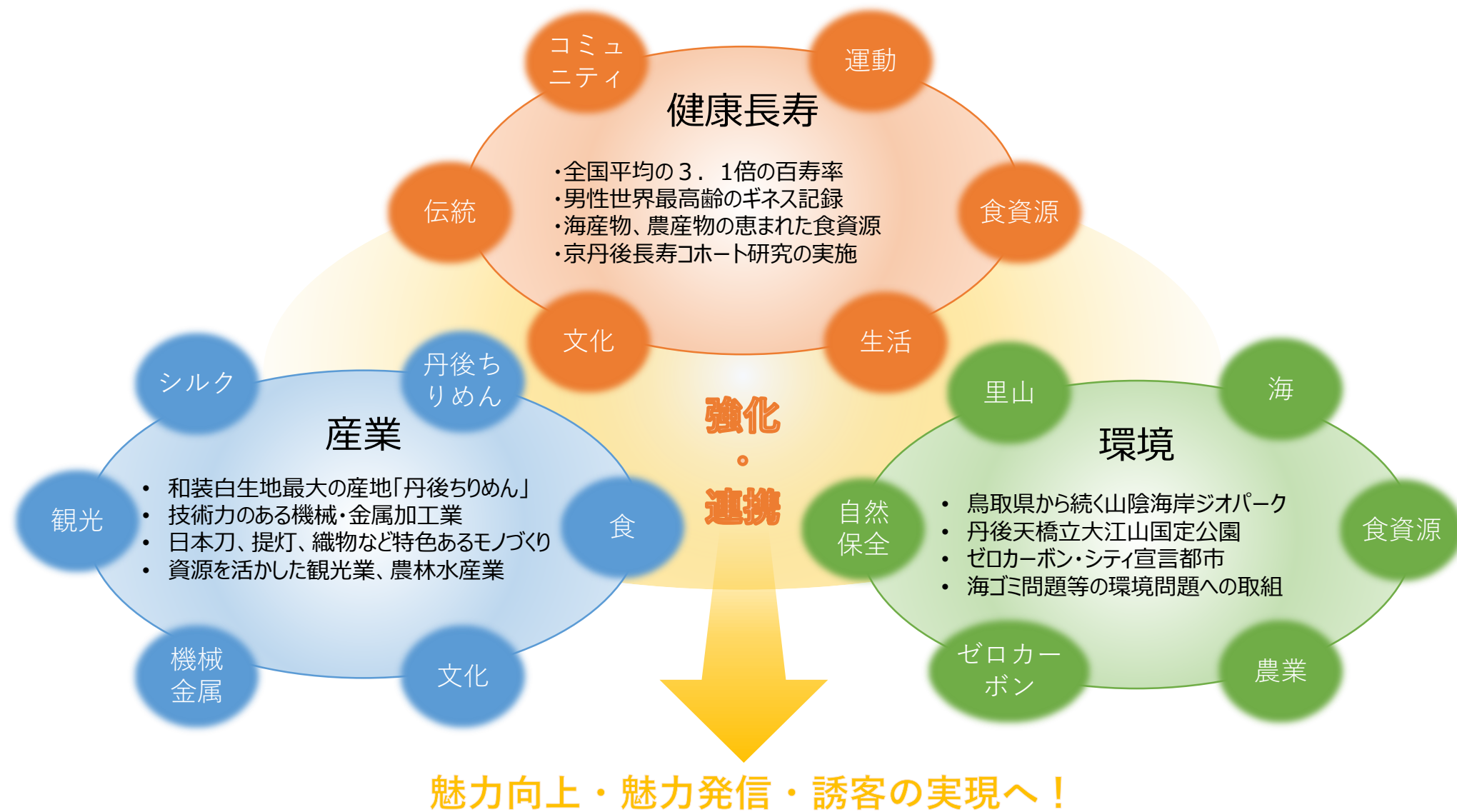
誘客：交流

魅力の向上・発信、京丹後が
丹後の中心となって地域外と
の交流を促進。

万博期間中は、他エリアとの連
携を図りながら関西周遊の
ハブとなることを目指す。



京丹後市の魅力・取組の柱



“自然・文化を織りなし百の才が生き輝くまち京丹後”

京丹後市の魅力・取組の柱

“自然・文化を織りなし百の才が活き輝くまち京丹後”

京丹後市には、ユネスコ世界ジオパークに認定された山陰海岸ジオパークの海岸線や丹後天橋立大江山国定公園など市域一帯に海や山などの自然があふれています。

また、寒暖差の激しい気候ということもあり、この自然で育まれた魚介類、野菜・果物が四季折々に豊富にとれます。そして、この食材をいかした郷土食は、素朴でありながら滋味にあふれており、百寿率（100歳以上の方の人口に占める割合）が全国平均と比較して高いという京丹後の魅力である「長寿」の秘訣になっていると言われています。

この丹後の地は、かつて表日本と呼ばれるほど、外交的な中心地であったとされ、日本海三大古墳の中で最大規模を誇る銚子山古墳を筆頭に多くの古墳があり、稲作発祥神話の地「月の輪田」や古墳時代の製鉄コンビナートである遠處（えんじょ）遺跡など、歴史的な遺跡が多く残されています。

産業面においても、かつての日本の基幹産業であった織物産業の中でトップシェアを誇る300年の歴史ある丹後ちりめんや、その織物産業を支えてきた機械金属加工業など、モノづくりを中心とした産業もあります。

この丹後の気候風土で育まれてきた自然と、この地で過去から脈々と引き継がれてきた文化を、伝統産業である丹後ちりめんのように織りなすことで、京丹後の魅力である人々が百歳を超えても活き活きとし、多くの魅力（百の才）が輝いていくまちを、この2025大阪・関西万博で実現していきます。

万博に向けた全体ロードマップ

2022

2023

2024

2025

»»

2027

»»

2030以降

レガシー

万博

京都府

京丹後市

実施体制

機運醸成活動

万博会場
(ゲートウェイ)

京丹後市
(サテライト)

会場建設開始

チケット予約開始

万博本番

500日前イベント

1年前プレイベント

自治体催事

京都府パビリオン

目指す姿

・丹後地域一体となった誘客・交流
・様々な「いのち」の魅力向上・発信

庁内検討会

万博ロードマップ検討会

万博推進協議会

丹後百人カイギ

SDGs推進市民会議

万博会場で、誘客に繋がるPRを実施

内容の検討

連携自治体と調整

自治体催事出展

長寿コホート研究

ヘルスツーリズム造成

ヘルスツーリズム販売・PR促進

健康長寿・食の取組

ヘルスツーリズムの販売・運営

丹後万博

丹後万博

丹後万博

丹後万博

SDGs意識の向上、未来人材育成の基盤構築

実施事業者育成

コーディネーター育成・実践

地域一体型
オープンファクトリー

オープンファクトリー実施による
企業の魅力向上・市外との交流基盤の構築

ビーチクリーン、はだしのコンサートなど環境保全活動

自然環境の保全活動

自然環境保全意識の拡大

あしたの畑、アートフェスティバルなど調整

文化・芸術の振興

文化芸術分野の関心向上

・機運醸成

調整

各分野でのツーリズムを展開

- ① 機運醸成の取組
- ② 万博会場での取組
- ③ 京丹後市での取組

概要

- 同じ地域で働く人同士の自然なつながりを生み出すことを目的とする交流イベントを実施し、万博をきっかけとして繋がりを創造。
- 毎回5人ずつのゲストが登壇し、自身の活動やこだわり等について、取組発表を行う。20回開催・100名のゲスト登壇を目標として実施していく。
- 登壇者同士、参加者同士が、肩書きや属性ではなく「想い」でつながり、新たな交流や本市資源の再発見を促進するとともに、新たなチャレンジ（ビジネス、地域づくりの活動、教育など）の生まれる基盤（コミュニティ）をレガシーとして形成することを目指す。

2025年に目指す姿

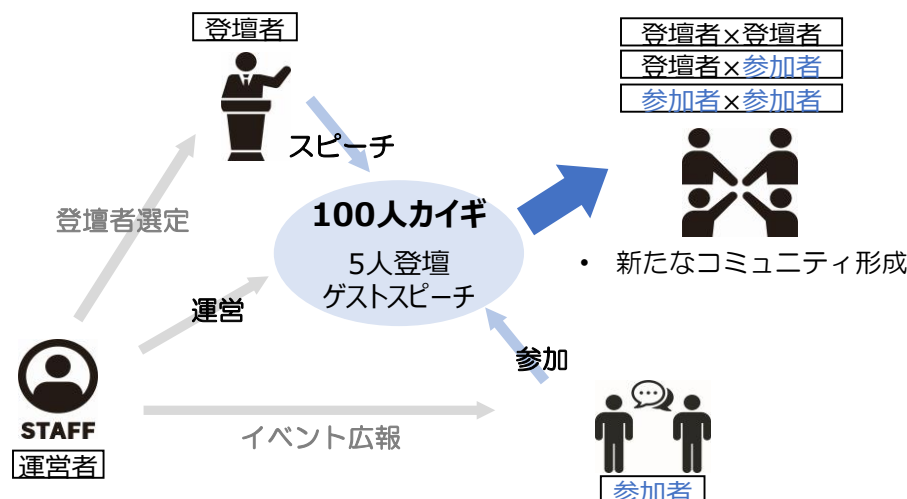
地域で活動するプレイヤーのコミュニティ構築

来訪ターゲット

SDGs、まちづくり、ビジネスに関心のある企業・団体・個人

実施体制

（仮）丹後100人カイギ実行委員会



2023年度（R5）

2024年度（R6）

2025年度（R7）

2026年度～（レガシー）

丹後100人カイギの企画

丹後100人カイギの実施・運営

・2～3か月に1度開催
・5人登壇×20回開催

・丹後をフィールドとして活躍する
人の新たなコミュニティ形成

・SDGs意識の向上

概要

- SDGsに取り組む市内の企業、団体、NPO、個人の交流や情報交換等を通して、各々の活動の活性化を図るための場として創設された「京丹後市SDGs推進市民会議」。
1.SDGsに関する取組の共有及び情報発信に関すること。 2.SDGsの普及啓発に関すること。
3.会員間の連携やマッチングの支援に関すること。 4.SDGs関連施策に関する市への提言に関すること。 など
- 2025大阪・関西万博の取組に賛同する事業者を可視化することで、会員同士が連携・協働して具体的な取組を推進し、SDGsの達成及び持続可能なまちの実現に寄与する。

2025年に目指す姿

本市でSDGsに取り組むプレイヤーの交流基盤の充実

参加者

市内の事業者、団体、個人、小中学校、高校など

実施体制

京丹後市政策企画課、京丹後市SDGs推進市民会議



2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度～（レガシー）
推進会議の運営			
万博賛同の表明	個々の活動内容発表 交流促進	個々の活動内容発表 交流促進	・ 市内外の京丹後市をフィールドとして活躍する人の新たなコミュニティ形成 ・ SDGs意識の向上

概要

- 企業や団体による大阪・関西万博を契機とした取組、活動を応援するとともに、広く発信することで、大阪・関西万博を契機とした様々な取組の創出を促進していくことを目的に、京都府が認証制度を創設。
- 丹後の事業者・団体・個人・小中学校・高校生などの様々なプレイヤーが申請、認証を受けることで、万博機運を醸成し自分ごと化して万博に積極的に取り組んでいくことができる。また、波及効果により、地域全体での万博への機運醸成、取組の活発化が起こる。

2025年に目指す姿

各分野の取組が認証を受け、地域一体で取組を実施

ターゲット

丹後の事業者、団体、個人など

実施体制

京都府総合政策環境部総合政策室



万博と京都を結ぶ

2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度～（レガシー）
認証制度の創設			
認証制度への申請			
	認証後プロジェクト推進		

概要

- 京丹後市のHPに万博用ページを作り、ロードマップ・協議会・各プロジェクト等の情報を鮮度高く発信していく。
- 外部サイト（万博協会主催のTEAM EXPO2025、京都府の万博用ウェブサイトなど）も活用していく。
- 情報鮮度を保つために、各プロジェクトで広報担当を決めるなど情報発信の仕組みを構築する。
- SNSで発信するためのハッシュタグ（例えば「#丹後でワクワク万博」）を設定するなど、市民・市内企業など多くの方を巻き込みやすい仕組みを作る。
- 積極的に発信していくことで、万博に向けた機運醸成だけでなく、市民が本市の魅力を再認識することによるシビックプライドの醸成、対外的には京丹後市のシティプロモーションに繋げていくことを目指す。

2025年に目指す姿

積極的な発信が常態化している

ターゲット

国内外のすべての人々

実施体制

京丹後市、市内の企業・団体

2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度～（レガシー）
万博特設ページの開設	ロードマップ、協議会、各プロジェクト等の情報を発信		
	プロジェクトごとに取組状況等をSNSで発信		京丹後市の認知向上
	ハッシュタグの設定	オール丹後で発信	万博の取組が実績として残るプラットフォームの構築

- ① 機運醸成の取組
- ② 万博会場での取組
- ③ 京丹後市での取組

	出展方法（例）	出展内容	実施者
健康・美・長寿 	万博首長連合	コホート研究、ヘルスツーリズム、長寿食などの健康・美・長寿にかかわる分野のPRの場として活用	大阪観光局 京丹後市 万博首長連合
丹後万博   	TEAM EXPO パビリオン	丹後万博で取り組んでいる内容、店舗等の出展による、模擬丹後万博を実施し、PRする	丹後万博実行委員会
オープンファクトリー 	近畿経済産業局、京都府ブース等	他地域のオープンファクトリー、モノづくり事業者と一体となって、各地の産業をPRする取組。 会場内で、ものづくり体験などができるスペースを用意し、体験してもらうことで現地へ来てもらうように誘導していく	京丹後市

	2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度～（レガシー）
長寿サミット	万博首長連合との調整	連携自治体との出展内容調整	万博本番での出展	長寿のまちというブランディング、丹後のものづくりブランドの認知拡大、パビリオンの活用等
丹後万博	TEAM EXPOパビリオンへの登録			
オープンファクトリー	近畿経済産業局、京都府等との調整 出展方法の模索			

- ① 機運醸成の取組
- ② 万博会場での取組
- ③ 京丹後市での取組

概要

- 京都府立医科大学から、世界長寿サミットの開催提案。行政、アカデミア、産業界、市民等で連携し、日本国内だけでなく世界各国に対して、本市が持つ長寿の強み・魅力を可視化し認知度を向上。
- 万博会場での催事出展や、日本抗加齢医学会とも連携するとともに、長寿サミットに併せてヘルスツーリズムを活用することで、万博期間内の誘客促進を行うだけでなく、本市の魅力発信を最大化。
- 中高生も巻き込み、全階層で長寿について考えるきっかけとする。
- サミットの最後には、健康長寿に関する宣言と参加者調印を行う。

2025年に目指す姿

世界長寿サミットの開催による長寿のまちとしての認知拡大

来訪ターゲット

健康・長寿に関心の高い方

実施体制

京都府立医科大学、京丹後市、京丹後市観光公社、大阪観光局ほか



2023年度（R5）

2024年度（R6）

2025年度（R7）

2026年度～（レガシー）

長寿コホート研究の実施

20xx年：研究成果発表

ヘルスツーリズムのブラッシュアップ

万博サイト等での販売

長寿サミットと連動したツアー実施

ヘルスツーリズムによる誘客

長寿食のブラッシュアップ

ヘルスツーリズムで提供

長寿サミットで披露

- ・ 健康長寿のまちとしての認知拡大
- ・ 将来への安心感形成による移住増加

長寿よさこいの企画

長寿よさこいの完成

世界長寿サミットの開催

長寿サミットの企画

プレイベントの開催

万博会場での催事出展

催事企画の検討、出展調整

概要

- 多くの百寿者を育んだ伝統食として、「まごわやさしいこ」をテーマに、地元でとれた食材を使って体に優しい食事をお客様に提供する。
まごわやさしいこ = 「まめ」「ごま」「わかめ」「やさい」「さかな」「しいたけ」「いも」「こうそ」
- ジオトレッキングと掛け合わせヘルスツーリズムを推進
- 丹後管内の様々な宿泊、飲食事業者が取り組むことで、丹後の郷土料理として発信を行う。

2025年に目指す姿

市内全域の宿泊事業者で展開

来訪ターゲット

健康・長寿に関心の高い方

実施体制

京丹後 ① おかみさんの会 など



2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度～（レガシー）
長寿食の考案	長寿食の試作など	長寿食の提供 ヘルスツーリズムでの提供 万博長寿サミットでの披露 その他ツアー、飲食店での提供	- 京丹後長寿食の認知拡大 - 宿泊事業者の長寿食メニュー定着
	ヘルスツーリズムの企画調整	ヘルスツーリズムの展開	ヘルスツーリズムの定着

概要

- 将来世代（市内の高校生等）が中心となって企画・運営するSDGsの祭典である「丹後万博」の開催を通じ、SDGsの理念の浸透を図り、その達成に向けた取組を加速させるとともに、先端技術の活用や環境問題への新たな挑戦など、地域課題の解決策を提示し、2030年のその先のまちの姿を考える機会を創出することで、万博への機運を醸成する。
- 市内に所在する京都府立高校の生徒を中心に、地域の多様なステークホルダーが参画する丹後万博開催実行委員会を組織し、市内外の企業や大学等との連携のもと、SDGsをテーマにしたステージ発表や体験コーナー、食のコーナーなど、様々なコンテンツを企画、実施することで、世界に向けてSDGsの理念の浸透を図り、その達成に向けた取組を加速させる。

2025年に目指す姿

地方における産官学（+高校生）連携による実践的なESD推進の仕組みの構築

来訪ターゲット

市内外の様々な団体、個人など

実施体制

丹後万博開催実行委員会



2023年度（R5）

2024年度（R6）

2025年度（R7）

2026年度～（レガシー）

第2回丹後万博の開催

第3回丹後万博の開催

第4回丹後万博の開催

丹後万博の開催を通じたSDGsの理念の浸透、市民・企業等における取組の促進

市外の学生、企業との広域連携

2026年以降の在り方検討

2026年以降の活動方針発表

・ SDG s への高い関心

・ 高校生ショップなど、イベントではない形での披露の場、年に一度ではなく継続的に発信していけるプラットフォームの構築

概要

- 京丹後市の地場産業である丹後ちりめん、機械金属業を中心としたモノづくりや、農業、宿泊施設など様々な現場を開放し、普段見ることができない現場や職人のワザ、こだわり、さらには受け入れる気持ちなどもオープンにする取組。
- これからの歴史と文化を担うモノづくり現場が、国内のみならず、世界中から訪れる人との交流、新しいアイデアの創出やコラボレーションを活性化させる場となり、京丹後が持つ魅力の可視化・認知度を向上。
- 万博を地元が地場産業を知る契機とし、理解が得られた状態でオープンファクトリーを地域一体で取り組み、魅力的なサテライトハビリオンとして発信し、本市への誘客に繋げるとともに他地域の産地間での交流・連携を行い、共創を促進する基盤を構築。

2025年に目指す姿

様々な業種のオープンファクトリー実施事業者を繋ぎ、国内外からの受入基盤を構築

KPI

オープンファクトリー参加企業 30社

来訪ターゲット

都市部・海外の企業、ビジネスパーソン、クリエイター、デザイナーなど

実施体制

市内各事業者、ツアーコーディネーター、京丹後市など



2023年度（R5）

オープンファクトリーの環境整備、実施事業者の育成・拡大

オープンファクトリー事業者の整理

2024年度（R6）

オープンファクトリーサイトの整備

コーディネーター人材育成

プレイベント・ツアーの実施

他市町事業者との広域連携

2025年度（R7）

万博会場へオープンファクトリーの
出展

オープンファクトリーツアーの実施

2026年度～（レガシー）

オープンファクトリーによる
市内受入体制の基盤構築

都市部・海外との交流による
新たなビジネス共創

概要

様々なモノづくりのある丹後で、業種を超えた連携によるモノづくりを積極的に行い、新たな商品開発の基盤となる関係性の構築や、それらを通じた各業界への魅力向上を行う。

【丹後の異業種組合による新織機開発】

- 織物業界の衰退により生産基盤が危機的状況にある中、丹後の地場産業である丹後織物工業組合と丹後機械工業協同組合が連携し新織機を開発。
- 併せて、航空宇宙分野などシルクの機能性を活かした新たなものの実践に取り組み、産業の維持発展を目指す。

【万博を記念した日本刀制作】

- 万博を契機として、丹後の異業種間で連携して記念の日本刀の制作に取り組む。

2025年に目指す姿

- ・ 連携した各産業界の魅力向上注目拡大
- ・ 異業種間での共同制作基盤の構築

実施体制

- ・ 丹後織物工業組合×丹後機械工業協同組合
 - ・ (株)日本玄承社×ちりめん事業者等
- ほか



2023年度 (R5)	2024年度 (R6)	2025年度 (R7)	2026年度～ (レガシー)
【新織機開発】			
新織機の方針性検討	設計・プロトタイプ的设计	製品化に向けた最適化 プロトタイプの方博展示	新たな新織機の方ーチ
【日本刀制作】			
万博記念日本刀の方画	制作開始	完成品イメージ発表	記念日本刀の完成
関係者調整			

概要

- バケツリレーで漂着ごみを搬送する「水晶浜大作戦」やビーチ斉グリーン作戦を行い、本市の魅力での一つである山陰海岸ジオパークの景観及び自然環境を守る。
- 海水浴場を訪れた観光客に片手で拾える程度の海岸漂着ごみを回収いただく「ワンハンドビーチクリーン」を実施し、「訪れた方」と「地域」がともに海岸保全を行う「観光SDGs」のまちを目指す。
- 樹齢約350年で北近畿最大級の内山ブナ林を知ってもらうための「観察会」を行うことで、保全の輪を広げていく。

2025年に目指す姿

自然環境と共生する豊かな市民生活の実現

来訪ターゲット

海水浴場を訪れる域外の観光客

実施体制

環境活動を行う民間団体、宿泊事業者、市生活環境課



2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度～（レガシー）
環境に関する啓発活動	教育現場・市民向け啓発活動 （環境活動への機運醸成）	SDGs 未来都市を冠とした 自然環境イベントの開催	未来に誇れる 豊かな自然環境の継承
ビーチクリーン活動			
内山ブナ林保全活動			
エコツーリズム×産業・文化観光などのツアー開発		ツアーの実施	

概要

- 文化芸術・文化財・観光が連携して、多種多様な“文化資源”を活かし「なつかしい日本のふるさと・京丹後」を創造・発信する。
- 文化資源を活用したツーリズムによって、地域・世代・国籍などを越えた交流を図り、文化芸術の力を地域振興につなげる。
- 対外的な事業の創造・発信を契機に、市民が丹後の資源の豊富さやその魅力を再認識することで、より一層の愛着と誇りを育み、次世代へ歴史や文化の継承へとつながる一連のサイクル（発信↔愛着・誇り↔継承）を生み出す。
- 網野鈔子山古墳を中心とした日本海側での古墳ツアーの実施や、京丹後アートフェスティバルで地域資源をモチーフに制作したアーティストによるパフォーマンス等

2025年に目指す姿

京丹後の多様で豊富な文化資源が、地域から発信されるまち

来訪ターゲット

オープンファクトリーなど目的を持ち京丹後に訪れる、世界中からの大阪・関西万博来訪者

実施体制

京丹後市、京丹後市教育委員会、ほか文化芸術に関わる団体等



2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度～（レガシー）
アートフェスティバルの開催			住民主導による文化資源の発信や、それらを活用したツーリズムの実施
網野鈔子山古墳の周辺整備		網野鈔子山古墳の活用	
		既存事業および文化資源を活用したツーリズムの提案	

様々なツーリズムの展開（観光） ※再掲含む

健康
長寿

産業

環境

概要

- 本市の地域資源を活用した様々なツーリズムを展開し、様々な国、文化の人が訪れるきっかけを作り、本市に対する認知度向上を目指す。
- また、単なる来訪ではなく、異文化間での交流やビジネスマッチング等を促す仕組みを取り入れ、今後に繋がる関係性を構築することで、レガシーとして関係人口の増加も目指していく。

	活用資源	内容	実施体制	ターゲット
ヘルスツーリズム	健康・自然	「健康」をテーマとして、自然に景観、そこで育まれた食材による郷土食、運動などを実践	京丹後市観光公社 京丹後市	海外の富裕層
アンラーニング ツーリズム	産業・文化・ 芸術	「学びほぐし」をテーマとして、本市の深い歴史・文化や、現代のものづくり産業、アートを掛け合わせ、観るだけではなく新たなものに触れ、学ぶ観光を実践	京丹後市観光公社 市内事業者（OF） 京丹後市	アーティスト、クリエイターなど

など

2025年に目指す姿

文化芸術による地域活性化の新たな羅針盤となる



2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度～（レガシー）
ヘルスツーリズムの充実 アンラーニングツーリズムの構築	万博協会主導のツアー ポータルサイトに掲載	万博＋ワントリップによりツアー実施（京丹後市への来訪実現）	京丹後市の認知向上 各種ツーリズムの定着 ツーリズム造成のノウハウ蓄積 来訪による関係人口の増加

2025大阪・関西万博を通じた交流の実現へ

万博期間中の導線等

①会場からの誘客



②市内周遊



③市外連携



対象	手段	時間	整備すべき事項
個人・家族	鉄道	3時間	Willer、JRとの連携
	バス	3時間	Willer、丹後海陸交通バス、阪急交通との連携
	タクシー	2.5時間	—
	レンタカー	2.5時間	—
団体	貸切バス	2.5時間	旅行会社に向けたPR
富裕層	ヘリコプター	1時間	発着場所、運航会社の確認事項、実現性

二次交通	整備すべき事項
Mobi	エリアの拡大 Willerとの連携
バス	丹後海陸交通バスとの連携
タクシー	ライドシェアの検討 市内タクシー事業者との連携
レンタカー	現在複数社あり、 市内事業者との連携
貸切バス 貸切タクシー	ツアーごとに設定
その他	自動運転の実証事業など (岐阜市の事例を参考に)

次の目的地	整備すべき事項
○山陰海岸ジオパークを目的に鳥取、兵庫等との連携	山陰海岸ジオパークを中心とした、ツアー等での連携を働きかけ
○若狭、敦賀、越前方面との連携	- 新幹線敦賀駅の開通をきっかけとした、若狭エリアからの誘客 - JR西日本やWillerとの連携を働きかけ

- Willerなどと連携し、国内外の様々な地域から万博会場に訪れる方が、スムーズに本市へ誘導できる導線を確保する。
- 万博期間中の入込客数増加や国際化対応を見込み、市内宿泊事業者との連携等を通じた受入体制の強化を検討する。

2023年度（R5）

2024年度（R6）

2025年度（R7）

2026年度～（レガシー）

調整

万博期間中、運航

今後開催されるイベント時の
経験値として蓄積

受入体制の強化（国際、防災、アクセシビリティ対応等）

概要

- 万博期間中の入込客数増加を見込み、宿泊機能の強化に係る検討。
- 海外誘客も視野に入れ、異文化への理解や交流等を促進していく。
- 滞在中の観光客に対する防災対応を意識する。
- バリアフリールートの作成や障害者用トイレの場所を明示、完ぺきでなくても、手話を学ぶなどの寄り添う姿勢や現状の対応情報を提供することで誰でもウェルカムという姿勢を見せ、丹後を選んでもらいやすい体制を作る。
- 写真でスロープ写真を投稿したり、「Accesible」というワードを使うことで、インバウンド旅行客にも、候補として検索される。

2025年に目指す姿

誰でも観光や旅行を楽しめる時代へ（アクセシブル・ツーリズム）

来訪ターゲット

障害者、高齢者や異文化の外国人も含めたすべての人々

実施体制

京丹後市観光公社、障害者団体連絡協議会、市障害者福祉課等



2023年度（R5）	2024年度（R6）	2025年度（R7）	2026年度～（レガシー）
改修等の必要性調査	関係団体へのハード整備 インバウンド対応の強化 情報発信・HP改修	訪れる全ての方に安心して 滞在してもらえる観光地 （アクセシブル・ツーリズム）	大阪・関西万博をきっかけに リピーターの増へ
心のバリアフリー普及活動			心のバリアフリー普及活動